



特集

植民地なき世界の万博

万博学／Expo-logy

BANPAKUGAKU  
Expo-logy  
万博学

Expos in a World without Colonies

Banpakugaku: Expo-logy

創刊号

思文閣出版

万博学研究会 編

万博学／Expo-logy  
創刊号

2022年 12月刊行

定価：2,200 円(税10%込)

▶A5判 ISBN 978-4-7842-2048-9

万博学研究会については  
こちらをご覧ください。

<https://cp.educ.kyoto-u.ac.jp/expo-logy/>



万博のさまざまな側面をつぶさに研究することの向こうに、この世界の人間たちの歩みが赤裸々に浮かび上がってくる——。

万博研究をリードする万博学研究会による最新の研究成果を毎年発信。

論集『万博学—万国博覧会という世界を把握する方法』で打ち出した「万博学」という研究視角の、さらなる共有と深化をはかる新たな挑戦が、いま始まる。

創刊号では戦後の万博と植民地の関係の特集。

万博はいかにして現在の姿になったのかという問いに、植民地を切り口にして迫る。

### 《内容目次》

創刊にあたって 万博学研究会 代表 佐野真由子

### 特集・植民地なき世界の万博

万国博覧会と「植民地」の消滅  
——国際博覧会条約一九七二年改正を中心に 佐野真由子

万国博覧会における「アフリカ表象」をめぐって ウスビ・サコ

パピリオンと音楽——戦後の万博における前川國男 井上さつき

コラム 大阪・関西万博における途上国支援について  
——実務担当者の目線から 一坂浩史

座談会 対等であるとはどういうことか  
吉田憲司・佐藤仁・岩田泰・佐野真由子

### 万博学の最前線

日本製カメラの一九五〇年代——輸出と展示会と万博と 白山真理

一八七六年フィラデルフィア万国博覧会と西郷従道 関根 仁

聖地・上野公園にみる博覧会の「分類」と「遷移」 杵名貴彦

### これも万博資料

コラム 欧州の〈都会案内〉にみる、万博見物指南 市川文彦

コラム 万博が登場する小説・映画 岩田 泰

英文目次・要旨

思文閣出版

〒605-0089 京都市東山区元町355 tel.075-533-6860 fax.075-531-0009  
<https://www.shibunkaku.co.jp> E-mail:pub@shibunkaku.co.jp

注文票		発行：思文閣出版		(京都 取引コード 3402)	
冊数	冊	万博学／Expo-logy 創刊号		本体2,000円(税別) ISBN978-4-7842-2048-9	
お名前				tel	本書HPのQRコード
ご住所	〒			e-mail	
送本方法	代引(書籍代+消費税+送料800円を現品と引き替えにお支払い、代引手数料は弊社負担) ◎ 最寄りの書店・ネット書店でもお買い求め、お取り寄せできます ◎				



# 万博学

## 万博学という、世界を把握する方法

佐野真由子編

万博学、それは万国博覧会という研究対象を通じて可能になる、大きな学際的人間学の営みである。

19世紀半ばに始まり、今日につづく世界最大の公式催事一、本書は32本の論考で、万国博覧会のさまざまな側面に着眼し、掘り下げたその先に、人類世界の歩みを浮き彫りにする。万博学研究会が新たに打ち出す「万博学」を体現。

万国博覧会とは「世界を把握する方法」なのだ。

▶B5判・556頁／本体 8,500円(税別) ISBN978-4-7842-1992-6



### ※万国博覧会と人間の歴史

佐野真由子編

近代以降の人間社会のあゆみを語る上で、万国博覧会は決して見過ごすことのできない対象である。本書は従来の研究の枠組みを超え、多様な領域の研究者のほか、万博をつくり、支える立場の政府関係者、業界関係者が集い、さらにアジア各国の研究者を迎えて、ともに議論を重ねた共同研究の成果25編。

▶A5判・758頁／本体 9,200円(税別) ISBN978-4-7842-1819-6

### パリ万国博覧会とジャポニスムの誕生

寺本敬子著

【4刷り】

1867年と1878年、ふたつのパリ万国博を舞台に交差する国家の思惑、人と物。「アジア」のなかに埋没していた日本のイメージがしだいに像を結び、やがてジャポニスムという「熱狂」へと収斂していく。日仏両国の史料を駆使し、開催国フランス、参加国日本、パリの観衆、三者の相互作用を通じてジャポニスムの誕生を解き明かす。

▶A5判・370頁／本体 6,500円(税別) ISBN978-4-7842-1888-2

### 近代京都の美術工芸 制作・流通・鑑賞

並木誠士編

明治・大正期の京都で制作・流通・鑑賞された絵画、工芸、建築、庭園さらには定期刊行物や書物など広範なジャンルをとりあげて論じることにより、近代京都の美術工芸をめぐる状況の解明を試みる。いまだ途上にある、近代京都の美術工芸研究を更新し、その作品や資料の評価、位置づけを問い直す。

▶A5判・604頁／本体 11,000円(税別) ISBN978-4-7842-1938-4

### 応用美術思想導入の歴史

ウィーン博参同より意匠条例制定まで

天貝義教著

「美術を工業に利用すること、即ち実用と佳美を兼ねしむるに在り」と表現された応用美術。ウィーン万国博覧会参加から意匠条例が制定されるまで、応用美術思想がいかに学習され、明治期の美術・工芸界において指導的役割を果たしていったかを明らかにする。

▶A5判・410頁／本体 7,500円(税別) ISBN978-4-7842-1505-8

### 国際デザイン史 日本の意匠と東西交流

デザイン史フォーラム編

1999・2000年に開催された「国際デザイン史フォーラム」(大阪大学大学院文学研究科美学研究室主催)をもとに、デザイン史における日本と西洋諸国との交流を探る56篇を収める。豊富な挿図(モノクロ)約180点を掲載。

▶A5判・304頁／本体 2,900円(税別) ISBN4-7842-1079-2

### 幕末外交儀礼の研究 欧米外交官たちの将軍拝謁

佐野真由子著

◆第23回日本比較文学会賞受賞◆

アメリカ総領事ハリスの登城・将軍家定拝謁から徳川幕府終焉まで、計17例を数えた欧米諸国の外交官による将軍拝謁。政治交渉の過程とは異なる次元で展開した外交儀礼の形成過程から、従来の研究で見落とされてきた、もうひとつの幕末史を考える。

▶46判・432頁／本体 5,000円(税別) ISBN978-4-7842-1850-9

### 洋学史研究事典

洋学史学会監修

青木歳幸、海原亮、沓澤宣賢、佐藤賢一、イサベル・田中・ファンダーレン、松方冬子編

グローバルな社会における洋学史研究の成果を盛り込んだ最新の研究事典。歴史研究を志す若い研究者はもとより、洋学史に関心・かかわりのあるすべての方へ、これからの研究の指針となる必備の書。

▶B5判・516頁／本体 13,000円(税別) ISBN978-4-7842-1937-7

### ※近代日本〈陳列所〉研究

三宅拓也著

地方行政政府によって「物産陳列所」や「商品陳列所」などという名称を冠せられて建設された公共の陳列施設が、都市の農業・工業・商業を奨励する目的で各地に設置された経緯を検証し、制度・活動・建築を含めて都市との関わりに注目することで、明治から昭和戦前期の日本に普及した〈陳列所〉の実態を、豊富な図版とともに明らかにする。

▶A5判・640頁／本体 7,800円(税別) ISBN978-4-7842-1788-5

### ジャポニスムを考える

日本文化表象をめぐる他者と自己

ジャポニスム学会編

ジャポニスム的な現象・表現等には、グローバルな文化における「日本」の座標を理解する有益な手がかりが多く含まれる。日本の外からあるいは日本の外を意識してイメージされた「日本文化」を研究する問題点と可能性を、ジャポニスム研究をリードする学者らが提起。

▶A5判・352頁／本体 3,200円(税別) ISBN978-4-7842-2034-2

### 明治博物館事始め [オンデマンド版]

権名仙卓著

明治初期、近代化と博覧会ブームを背景に次々と誕生した博物館、その「正史」からはこぼれがちな興味深いエピソードを通して、明治という時代が鮮やかに甦る。巻末に「主要参考文献」「博物館変遷図」「明治博物館年表」を付す。オンデマンド版(初版1989年)。

▶46判・268頁／本体 4,800円(税別) ISBN978-4-7842-7002-6

インタビュー・エッセイや新刊情報を掲載した広報誌『鴨東通信』を年2回無料でお送りしています。電話・fax・Eメールでお申し込み下さい。 ※印の書籍は外函・カバーに汚れ・傷みがございます。